

第3回協議会だより 《東方部》



—令和5年1月20日（金）15:00～16:40 ニコニコこども館 3階研修室—

【実践発表】 安積幼稚園

「幼保小の円滑な接続にむけて」～一人ひとりが安心して就学をむかえるために～



安積幼稚園では、『身体は育つもの 心は育てるもの』を教育理念とし、一人ひとりを大切にしながら、健やかな身体と豊かな感性を育てています。園の先生方は研修を通して学びを深め、アプローチカリキュラムを編成し、豊かな環境や遊びを通じた教育活動の充実を図っています。具体的には、文字を使った遊びや当番活動、生き物の飼育等の紹介がありました。上記左の写真は子どもたちが主体的に展開した「お店屋さんごっこ」の様子です。

小学校の連携については、コロナ禍前は学校訪問を通して交流していましたが、現在は動画での交流を中心に行っています。たとえば「給食はおいしいですか?」「勉強は楽しいですか?」等たくさんの質問を園児が行い、その質問に対して小学一年生が笑顔で丁寧に応えるなど、アイデアを出し合いながら工夫して様々な形での交流ができると感じました。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ 安積幼稚園の発表について

- 先生自身が手本となる言葉遣いや行動を示す「行動保育」を行っているという点、教諭の心構えとしては、子どもに教えるのみではなく自らの態度も重要であると感じました。
- 小学校へ入学するまでに身に付けたい力を、遊びを通して学んでいく姿が素晴らしい。
- 近隣の小学校との連携が密に図られている。コロナ禍であっても園がアクションを起こして小学校との連携を図り、就学の基盤を作っている。とても参考になった。

☆ 指導（保育）要録を介した幼保と小の情報共有について

- 情報共有をするためにも、要録の送付時期を早めたら良いと思う。また、送付と合わせて直接面談等を行うなど、その子の特性を伝えたい。
- 小学校の先生方に、幼稚園、保育所（園）の行事等を実際に見てもらうことで、子どもたちの発達や育ち等も共有できるのではないかと。

《参加者からのアンケートから》

- 幼保で経験したことや学んだこと、感じたことは小学生になっても基礎、基本としてさらには強みとして生きていく。密な連携が大切なのだと分かった。（小学校：女）
- 幼稚園のうちにしっかりと小学校に向けて土台を作り、子どもたちが期待をもって入学できるように今後も力を入れて保育していきたいと思いました。（幼稚園：女）

「相互参観だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。